

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:令和1年 6月 19日

事業所名:はなまる学園

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準に定められたスペースは確保できている 利用者が落ち着いて過ごせるようソファや人工芝なども取り入れている	全員“はい”との回答をいただいている	これからも整理整頓を心掛け、安全な動線を確保する
	2	職員の適切な配置	教諭免許取得者、指導員(障害、児童の経験者)、保育士、看護師等の専門職員を常時配置している	概ね満足されているという意見をいただいている	今後も利用者に応じたスキルを持ったスタッフを確保する
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	目的ごとに部屋がわかれており、施設間はバリアフリー化されている	全員“はい”との回答をいただいている	個々の能力や特性に応じた環境を整えていく
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、各部屋、トイレ、浴室の清掃、おもちゃ等の定期的な消毒を行い、清潔を保てるよう配慮している	全員“はい”との回答をいただいている	清潔で心地よく過ごせる環境を整えていく
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員間で情報共有をし、利用者への支援の向上、改善に取り組んでいる		全職員から多種多様な意見を取り入れていく
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では実施していない		今度、第三者評価を取り入れられるよう努める
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要に応じて確保している		引き続き定期的な研修を行う 外部への研修へも積極的に参加する
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	4月から本格的に受け入れが始まったため、作成している方と作成中の方がいる	概ね“はい”との回答をいただいているが、少数“いいえ”“わからない”との回答もあり	確実に支援計画を作成し、定期的なモニタリングを行い、利用者の現状に適した計画を作成する
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4月から本格的に受け入れが始まったため、作成している方と作成中の方がいる		個々の支援だけでなく、集団生活に対する支援の内容を含めた計画書を作成する
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	今後適切に行う		個々の利用者の現状と課題に対する支援内容の記載に努める

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	4月から本格的に受け入れが始まったため、聞き取りができてきている方と作成中の方がある	概ね“はい”との回答をいただいているが、少数“いいえ”“わからない”との回答もあり	作成中の方は早急に完成させ、定期的に個々の課題や注意点について確認を行い、計画に沿った支援を行う
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	その日の利用者に応じた活動プログラムをスタッフで話し合い計画をしている	概ね“はい”との回答をいただいているが、少数“いいえ”“わからない”との回答もあり	個々の状況を把握、共有し、リスクについても慎重に話し合い、プログラム作成に取り組む
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇では、利用時間が異なるため、臨機応変に対応している		引き続き、保護者のニーズに沿った支援ができるよう心掛ける
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	性別、特性、興味などに応じて、変動制のあるプログラムに取り組んでいる		定期的にスタッフ間での話し合いの場を設け、新たなプログラムを発案できるよう努める
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ホワイトボードや口頭にて、当日の支援内容や役割分担を確認し、支援を行っている		引き続き、支援内容や役割分担の確認をし、変更があればスタッフ全体に周知することを徹底する
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、スタッフ間で話しをし、振り返りや気づいたことなどの情報を共有している		引き続き継続し、気になる点があれば書面に残す 必要であれば家族や学校に相談する
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の健康状態、食事量、排泄、入浴の有無等、細かな記録を徹底している		引き続き継続し、保護者からのニーズがあればその都度変更し、記録に残してスタッフ間で共有する
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	オープンして間がないため、モニタリングはまだ実施していない		今後定期的にモニタリングを行う

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	現在、担当者会議は開催されていない		担当者会議が開催される場合は積極的に担当者が会議に参加していく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在は行っていない		今後は、関係機関と連携できるようにしていく
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	主治医から当施設の看護師に指示書をご記入いただいております、医療機関との連絡体制はできている		今後も引き続き、連絡体制を継続し、利用者の医療的ケアに変更がないかなどを定期的に更新していく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当児童なし		該当児童があれば対応していく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在3名在籍している		保護者の要望など確認し、必要であれば、関係機関と連携し、情報共有していく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現在は行っていない		今後機会があれば参加していく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は行っていない	“わからない”との意見多数	交流の機会があれば検討していく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は行っていない	意見なし	今後検討していく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用契約の際に詳しく説明を行っている	全員“はい”との回答をいただいている	今後も引き続き、丁寧な説明を心掛ける
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4月から本格的に受け入れが始まったため、作成し説明できている方と、作成中で説明できていない方がいる	概ね“はい”との回答をいただいているが、少数“どちらともいえない”“わからない”との回答もあり	早急に作成し、説明が行えるようにする
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニング等は実施していない	概ね“わからない”との回答をいただいているが、少数“はい”“いいえ”との回答もあり	今後はペアレント・トレーニングなどの知識を学び、行っていけるような体制を整える
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に日常の様子や変わったことがないかなど、意見交換をし、共通理解に努めている	概ね“はい”との回答をいただいている	今後も継続して共通理解を深めていく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談などがあれば代表者が話を聞き、保護者やご家族への助言や提案などを行っている	概ね“はい”との回答をいただいているが、少数“わからない”との回答もあり	今後も継続して相談しやすい環境を作る
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は行っていない	概ね“わからない”との回答	現在、父母の会の活動予定はなし
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対しての説明は、契約時に行っており、苦情を受けた際には、迅速に対応できるような体制を整えている	概ね“はい”との回答をいただいているが少数“どちらともいえない”“わからない”との回答もあり	今後も継続し、迅速に対応できるような体制を整える
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用者に対しては、個々に応じた意思の疎通を、サインやジェスチャー、分かりやすい言葉などを使い行っている	概ね“はい”との回答をいただいているが少数“わからない”との回答もあり	今後も継続し、個々に応じた情報伝達に努める
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、写真を載せた「はなまるニュース」で当月の活動内容や、翌月の活動予定、お知らせなどを記載し配布している	概ね“はい”との回答をいただいている	今後も継続していく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについては、保護者の同意書をいただいた上で、鍵付き棚に保管している また、職員とは、秘密保持契約書を交わしている	概ね“はい”との回答をいただいている	今後も、契約時には詳しく説明し、同意をいただき、保管には細心の注意を払う

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し、緊急時等の対応に取り組んでいるが、保護者への通達は行えていない	全員“はい”との回答をいただいている	今後マニュアルについてさらに情報を集め、更新していき、保護者にも周知していく
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4月から本格的に受け入れが始まったため、まだ行えていないが、年2回実施を予定している	概ね“わからない”との回答をいただいている	年2回実施予定で、保護者にも訓練実施の報告を行う
	3	虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	虐待防止の研修を行っている		今後も定期的に研修を実施していく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束に関しては、現在対象となる児童はいない		やむを得ず身体拘束を行う場合には、保護者、学校、医師等、あらゆる関係機関から意見を聞き、計画書への記載を徹底する
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーのある子どもの保護者に聞き取りを行い、細心の注意を払っているが、医師の指示書はもらっていない		保護者や医療機関等との情報共有や連携を徹底し、安全な対応を行う
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	定期的に職員間で、事例を周知する時間を設け共有している		今後も継続してヒヤリハットの作成と職員間での情報共有をし、話し合い等を行っていく